

テーマ：「多職種連携実習」

カテゴリー：①教育課程

学校概要：【学 校 名】白河厚生総合病院附属高等看護学院

【所 在 地】福島県白河市豊地上弥次郎 2 番地 1

【課 程 名】3 年課程

【1 学年定員数】30 名

【修業年限】3 年

内 容

科目創設の背景

近年、看護職を取り巻く環境において、医療の発展とともに高度化・複雑化する医療現場、さらには地域医療構想の実現や地域包括ケアシステムの構築の推進が進み、看護職の活躍の場と役割が大きく拡大しつつある。看護職は、対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造し、より一層の看護実践能力の向上が期待される。他、多様な看護実践の場において多職種と連携して、適切な保健・医療・福祉を提供する実践力とチームのコーディネーターとしての役割が期待されている。よって、既習した知識・技術・態度を統合し、多職種と連携・協働しながらチームの一員としての看護実践能力を身につけるため、多職種連携実習を創設した。

科目創設・開始時期

令和 4 年度よりスタート

科目の概要

領 域：看護の統合と実践

科 目 名：多職種連携実習

単位・時間数：1 単位 45 時間（6 日間）

履修時期：2 年次後期

科目目標：1）保健・医療・福祉の分野で働く多職種の専門性が理解できる。

2）対象の生活及び健康ニーズを検討し、対象を取り巻く専門職との連携・協働の必要性が理解できる。

3）外来における看護の役割と機能が理解できる。

4）保健・医療・福祉のチームの一員としてコミュニケーションを図り、互いの専門性を尊重した態度を身につける。

5）保健・医療・福祉の分野で働く専門職との連携・協働を行う上での自己の課題を明確にできる。

実習施設：白河厚生総合病院

外来部門） 総合診療科、消化器内科、血液・循環器内科、内分泌内科、呼吸器内科、外科、
整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、眼科

コメディカル部門）薬剤科、臨床検査科、リハビリテーション科、臨床工学科、栄養科、放射線科、安全管理室

実習イメージ

	実習 1 日目	実習 2 日目	実習 3 日目	実習 4 日目	実習 5 日目	実習 6 日目
パターン A (15 名)	学内実習	外来部門実習		コメディカル部門実習		学内実習
パターン B (15 名)		コメディカル部門実習		外来部門実習		

学生の学びの声

- ・今まで知らなかった他職種の役割などについて知ることができ、感謝と尊敬の気持ちを持って他職種と連携することの大切さを学ぶことが出来た。就職した後も今回の実習で学んだことを心に、たくさんコミュニケーションをとって連携、協働していきたいと思った。
- ・各部門の専門的な業務や役割を知ることができ、看護師として何が求められているのか、看護師になった時にどのように連携するべきか、どうしたら思いやりのある行動が取れるか学ぶことができた。
- ・他職種の視点から看護職を見ることで、看護師に求められることを知り、円滑なチームワークにつながると感じた。
- ・看護師になる上で、連携で気をつけることを頭に入れておくことで職種間・患者の負担軽減に繋がることを学んだ。
- ・多職種連携の大切さやお互いをリスペクトし、専門性を大切にすることが大切だと学ぶことができた。

